



与論小だより



ブログはこちらから

学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、未来に挑む子供の育成

心のファッション

校長 岩元 輝美

梅雨の時期で気分のすっきりしない日々が続いていますが、そんな中でも子供たちには明るい気持ちで元気よく充実した毎日を過ごしてほしいと思っています。そんな思いが伝わっているかのように、毎朝各学級から元気な朝の歌声が聞こえてきます。今月は、遠泳を通して「海(未来)に挑む」4～6年生、なかでも初めて挑戦する4年生や転入生を励ます応援歌「完泳めざして泳ぎ出せ」が響き渡っています。そ

して、何よりも子供たちが、少し肌寒い日でも、放課後練習を頑張っている姿に私のやる気もみなぎってきます。7月6日(水)の本番が楽しみです。

おうえんか(ソレ) ひびけみんなの おうえんか(ソレ) とどけみんなの ソレゴン(エンヤコ) たいこひいて がんばろう(ハイ) ソレいけいけい 力をあわせて つきすめ 砂はま目指して エンヤコーラと声を出し 泳ぎだす(ソレ) 目指して かんえい海へ 青い空 目指して かんえい海へ	おうえんか(ソレ) ひびけみんなの おうえんか(ソレ) とどけみんなの ソレゴン(エンヤコ) たいこひいて がんばろう(ハイ) ソレいけいけい 力をあわせて つきすめ 砂はま目指して エンヤコーラと声を出し 泳ぎだす(ソレ) 目指して かんえい海へ 青い空 目指して かんえい海へ	おうえんか(ソレ) ひびけみんなの おうえんか(ソレ) とどけみんなの ソレゴン(エンヤコ) たいこひいて がんばろう(ハイ) ソレいけいけい 力をあわせて つきすめ 砂はま目指して エンヤコーラと声を出し 泳ぎだす(ソレ) 目指して かんえい海へ 青い空 目指して かんえい海へ	完泳めざして泳ぎ出せ 一今までの練習の せいをかを 出さきつて さいごまで(ソレ) 波に 負けずに泳ぎきろう よろんの海は青くすみ きれいなお魚 (ドッコイドッコイ) ソレいける(ハイ) ゆりがはま たいこひいて ドンゴン(エンヤコ) ドンゴン(エンヤコ) 目の前だ おうえんか(ソレ)
---	---	---	---

さて、本校では学力向上などとともに、基本的な生活習慣・生活態度の育成も教育課題としています。これは一口に「しつけ」という言葉で言い表せます。しつけについては、家庭と学校が一体となって取り組まなければならないものです。しつけを「心のファッション」と言った人がいますが、美しい言葉や振る舞いは確かに周囲の者の心をさわやかにします。子供たちは毎朝校舎に入ると職員室の入り口の前で、「おはようございます」と大きな声であいさつをしています。同じように下校時も「さようなら」と大きな声であいさつをしています。また、トイレで自分の使ったスリッパは勿論、乱れている他のスリッパまで整えている子供の姿を見かけます。まさに心のファッションを装った子供たちのさわやかな光景です。そんな光景を、すべての児童に、さらにいろいろな場面に、広げていきたいものです。

「躰」という漢字があります。身を美しくと書きますが、自分自身の身を美しくするということは、相手を思いやるということにもつながります。幼い頃に教え諭し、きちんと生活習慣となすべきものが、つつい可愛さに惑わされて抜け落ちやすいということはよく指摘されます。基本的な生活習慣や生活態度をしつけるということは、子供が社会に出たときに必要な道徳的な判断力を培っているのだと考えれば、幼少期のしつけは、いい加減にはできません。しつけは、子供に古い考えを押しつけるものでも、子供を型にはめるといってもありません。子供に考える力と判断力を育てていくという考え方でしつけをしたいものです。また、しつけるときに気を付けることは、子供の気持ちを理解してあげて、納得できるように説明してあげることです。子供の「よさ」を褒めてあげて、自分から進んでやろうとする力を育ててあげてほしいものです。(2人の子の父親としての自戒を込めて・・・)

しつけについては、各家庭いろいろな考え方があるでしょうが、それぞれの家庭で一貫したしつけの方針を持っていただければと思います。

